

ポーランド・マクロ経済情勢

2020年1月
在ポーランド日本国大使館
経済班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2018年のGDP成長率は5.1%で、好調な経済成長を遂げている（2016年は2.9%、2017年は4.8%）。
政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産の伸びは鈍化、消費は緩やかに拡大

11月の鉱工業生産は前年同月比1.4%増、小売販売は対前年同月比5.2%増。生産の伸びは鈍化したが、消費は引き続き緩やかに拡大している。

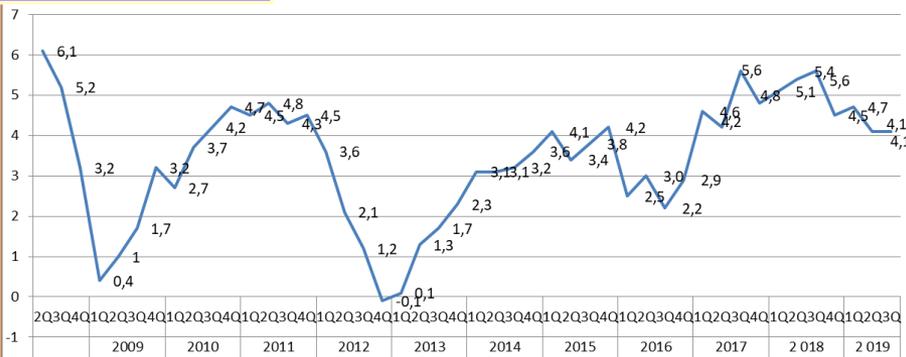
3 物価は上昇傾向

11月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比2.6%上昇。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限値（1.5%）を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移している。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

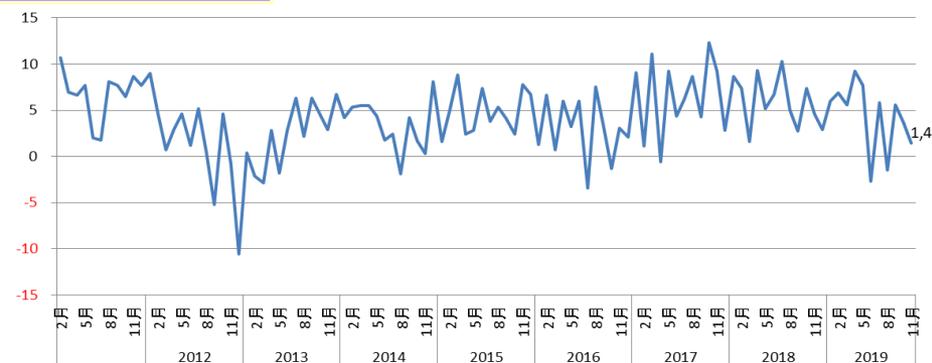
11月の失業率は5.1%、平均賃金上昇率は対前年同月比5.3%増。失業率は前月から0.1%増加した。

経済成長



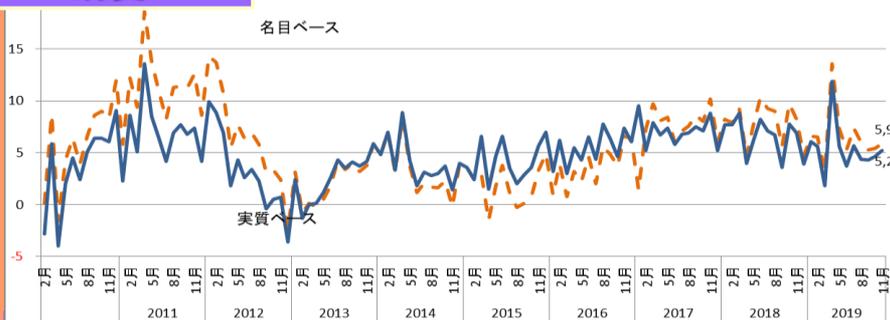
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



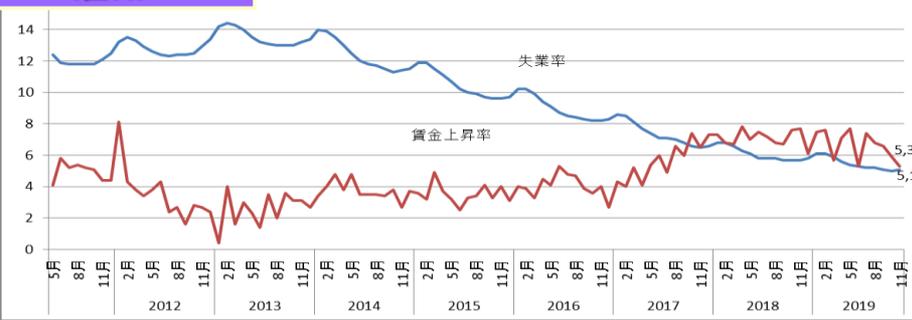
鉱工業生産は対前年同月比1.4%増加し、伸びが鈍化した。

消費



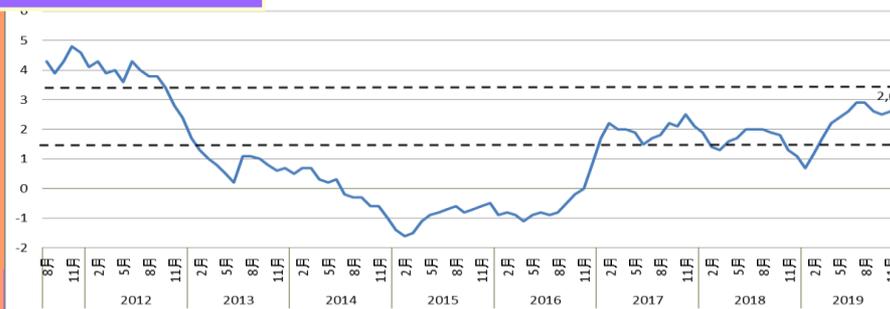
小売販売は対前年同月比5.2%増で、引き続き緩やかに拡大している。

雇用



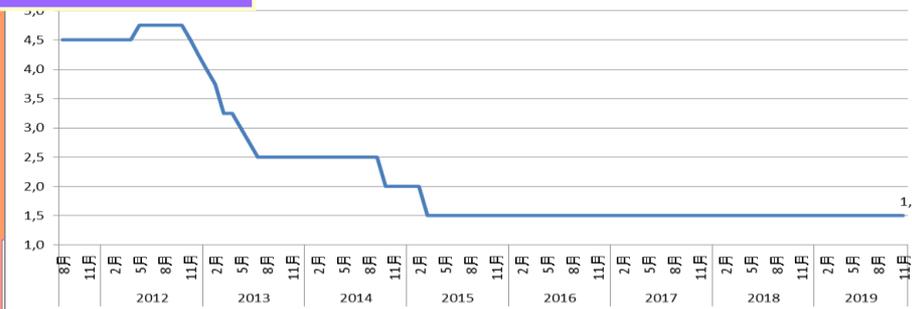
11月の失業率は5.1%と前月より増加した。平均賃金上昇率は対前年同月比5.3%増と引き続き上昇傾向にある。

物価



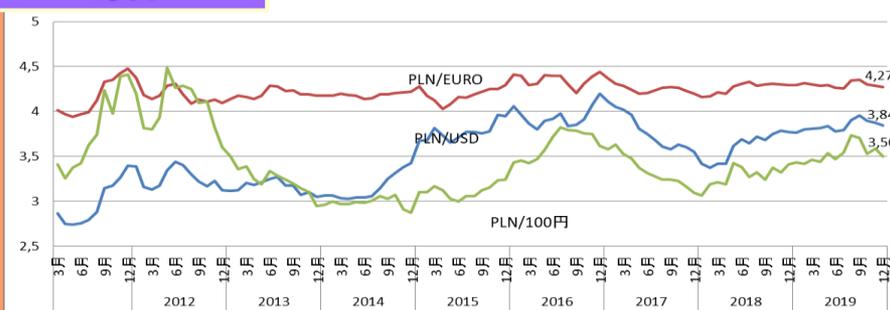
11月のCPIは対前年同月比2.6%上昇。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限値(1.5%)を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移。

金利



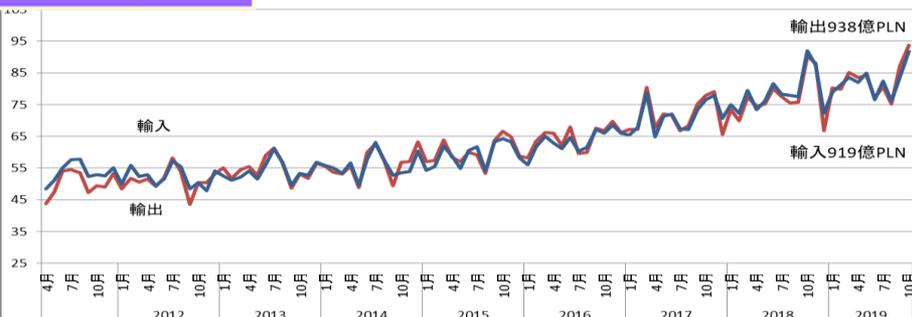
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

為替



12月の平均為替は、対ユーロ(4.27ズロチ)、対ドル(3.84ズロチ)、及び対日本円(3.50ズロチ)それぞれでズロチ高が進んだ。

貿易



10月の輸出は約938億ズロチ、輸入は約919億ズロチで約19億ズロチの貿易黒字となった(9月は36億ズロチの貿易黒字)。